三夕 日刊
磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人 岡田弘處
印刷人
印刷所 加納活版所
發行所 福島縣石城郡平町 磐城時報社
一部金貳錢 一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（曜、祭日）休刊

容易に見つかりさうもない
湯本の後任町長
欠員は町民が希望せぬ

高木町長の辭任によつて大体平穩に歸した湯本町では町會議員大多數の意嚮としては町長を欠員としてたく事を好ます後任町長問題について寄々協議中の模樣であるが、由來同町は極めて復雜なる事情を有する難治の町として歴代の村長或は町長たりしものは僅に一二を除く外殆んどその終りを全ふしたるものなく、爲に之れが適材の選定に當つて從來町を擧げて少なからざる腐心を拂つた樣な事情もあり今回も之れが決定を見る迄には相當の曲折あるものと見られてゐる、尙ほ後任町長の人選に就ては以前同村長たりし事ある元小學校長小泉三代喜氏を擧げんとする向きあるに對し、以前同村長にして現神谷村長たる長壽男氏を迎へんとする一派あり、更に少壯氣鋭の士を以て町治の刷新を劃せんとする一部には同町山形屋旅館の經營者たる鈴木康平氏の進出を望むものあり町議の意向悉く其歸趨を一にせざるものあつて目下の處その何人に決定するや全然見當がついて居らぬが、結局は政黨的に無色透明にして全町民の信賴するに足る人材が現はれざる限り妥當りその決定を見るは大体不可能事に近い問題と目されてゐる。

第三校の
敷地問題

平町に於ける多年の懸案であつた第三小學校新築問題も町會に於て豫算二十四萬が可決され建築委員として青沼銘太郎氏外十九名も決定し愈々着工の段取りになつたが、大体に於て敷地は平町東部となつてゐるのみで、決定した敷地がないため或は鎌田町近くの水田を埋立てゝ之に充つる事を主張する人もあり、又は鐵道以北に建設せよ等と叫ぶ者もあつてその敷地決定までには相當波亂曲折は免れない模樣である。

大倉組の手で
復活する廣野炭礦

石城郡湯本町入山炭礦では先年來の炭界不振にも比較的打撃を被る事少なく大体順調に操業を續け來つたが今回更に大倉組の買收したる双葉郡廣野炭礦に對し同組の依託を受け併せ經營する事となり坑務所長漆野佐市郎氏をはじめ吉田事務部長、大貫技術部長等の幹部社員は近來同地に往復しその營業準備中である。而して前記廣野炭礦は先年一時相當の活況を示したる事あり從つて附近農村等に在つては之れが余澤を被りつゝあつたのを其後操業の中絶と共に以前の一寒村に還り炭礦全盛當時の賑ひを見る事が出來なくなり一般では少なからず失望してゐる矢先きなので今回入山の手により兩礦の復活を見るに至つた事は先年の殷賑を再現するものとして少なからずその將來を期待されてゐる。

秩父宮殿下
平驛御通過

北海道方面御旅行中の秩父宮殿下には愈々歸途につかせらるゝ事となり四日午後十一時仙臺御發五日午前二時三十六分平驛御通過遊ばさるゝ筈である。

平繭市場
實現近し

石城郡販賣利用組合の平及び植田繭市場新設計は既報の通りで大体養蠶家として〻歡迎し且各町村の寄附額等も順調に應諾され一般組合加入者の募集成績も各町村に數名の委員を置き勸誘中で頗る良好なるものがある、但し過般の選擧騷ぎで稍中斷された形ちとなつた爲め組合の方針通り果して春繭季迄に設立され得るや否や疑問であるが大勢は既に前述の通りで赤井、小川の如き兩村だけにも三百余名の組合加入者を見てゐる模樣であるから其實現も案外急速に運ばれるであらう。

豐間の進榮丸に
優勝旗を授與
三月十三日豐間村で擧式

本縣水產會に於ける昨年中の最高漁獲高船石城郡豐間村鰹船四家喜七所有進榮丸に對する優勝旗授與式は來る三月十三日（舊二月二十二日）午前十時から同村役場庭前に於て行ふ事に決定した、縣からは知事代理として副會長里見商工水產課長と檳田水產技師とが臨席し船主には優勝旗を、船長には置時計を添へて表彰狀を授與する。

磐城炭礦で
經費節約

常磐の各炭礦ではまさに夏枯れ時季に向はんとしてゐるが冬季需要最盛期にすら磐城八萬噸、入山三萬噸、福島三萬噸といふ貯炭の山を築きしかも山元の貯炭中自然發火の恐れがあるためそれ〻撒水してゐるといふ有樣で實に十數年來かつて無き苦境のドン底に陷つてゐる炭礦の受難時代として何れも對策に腐心してゐるが、常磐第一の磐城炭礦では一日淺野社長來山石城幹部を召集し不況の對策として極力生產費を切り詰め一噸當り五圓前後にまで經費節約を訓示する所があり、坑夫に對する入坑獎勵金等は悉く全廢する事となつた、たゞ會社側としては來る四月から更新される鐵道納炭の增額に一縷の望をかけてゐる

小名濱測候所で
暴風の警告
此間位の風は吹く

小名濱測候所では去る三日から四日にかけ七百二十八ミリの低氣壓が北海道西部を通過するので東北一帶殊に縣下に暴風が起る事を知つたので三日午前十時

三日午後三時以後風强かるべし。

といふ警告を平警察署並に附近漁業組合に通報して一般の警戒を促したが、この警告に接した平警察署では濱三郡各署に通報した、小名濱測候所で語る

「暴風といふ程でもないが、先達吹いた位の風は吹きます、此間の最も強いのは一秒十五米五でした」

四倉と江名濱で
天測航海法の講習
遠洋に於て本船の位置をはかり安全に航海し得る方法

縣水產會では遠洋漁業の發達をはかる目的から大日本水產會の戸田技師を招聘し二月二十八日から三月五日まで四倉漁業組合で天測航海法の講習會を開催中であるが更に六日から一週間に亘り江名濱町で同講習會を開催する事になつた本講習の目的は遠洋に於て本船の位置を圖り安全に航海し得る方法で本縣の如き遭難の多い地に於ては最も適切なものであると言はれてゐる

▲磐中卒業式 縣立磐城中學校第廿八回卒業證書授與式は來る七日午前十時から同校大講堂に於て擧行すると。

▲歩兵操典講義 石城郡在住將校に對する改正歩兵操典講義は三日、四日の兩日四倉町小學校で行つたが講師は第二師團西尾少佐である。

漆畑氏
廿二日頃出發
鄉里靜岡へ

平町田町辯護士漆畑元吉氏は平町を去る可く決意した事既報の通りであるが、浦和行きを斷念し鄉里靜岡に戻る事となり來る二十二日頃出發する豫定であると

▲看護婦試驗 日本赤十字社福島支部看護婦採用試驗は三日午前九時から平町元石城郡役所で行つたが受驗者十五名、試驗官は志賀進氏であつた。

平の藝妓
花時の仕度
新裝を凝して御目見得

平町新田町の花柳界では先年來花時に於ける藝妓の服裝を一定し年齒によつて區別した紅紫の晴れ着は松ケ岡の花の平町を飾つて少なからず濃艶なる情趣を添へ花時に於ける呼び物の一つとなつてゐるが右は兩三年前の調査に係り構想圖案等昨今漸く一般の好奇から遠ざからんとしつゝあるので今回更に之を新調する事となり目下京都に註文中であるが今回の意匠は年齒等によつて色分けせず鳳凰に櫻花を配した見るも燦爛たるものであると。

鮮人と通じ
人妻家出

山形縣西村山郡佐貝町サノ長女川部村大字沼部森谷ハナ（三〇）は去る二十三日午後十時頃內縁の夫油座卯之吉の不在中家出して行衞不明になつたが、ハナは暫らく前から王城炭礦坑夫朝鮮人金澤長吉事李演泰（四三）と情を通じてゐたから同人と駈落して內鄉村高坂か、磐崎村藤原に來たものらしく、三日卯之吉は平署に搜索方を願ひ出でた。

印刷物は　加納活版所

鮮人勞働者の妻 毒を嚥む

前途を悲觀して

磐崎村大字藤原三井炭礦百一號長屋居住鮮人金相蓮（二十八）は二日午後三時頃夫の不在中猫イラズを服用したのを夫が發見し醫師を招いて應急手當を施したので生命は取り止めたが、前途を悲觀してこの始末に及んだものらしく三日平署から橋矢田部長出張檢視した。

▲女中志願

茨城縣多賀郡松原町大字秋山神永藤之助は十四歳になる二女を奉公させ度いと平署人事相談所に世話方を願ひ出でた。

映畫界

▼新珠（二）

かくて妹爛の堀田を訪問する日が多くなつた、快活でスポーツマンたる爛子は無邪氣に彼を親しむのであつた、併し彼女には鎌倉の海岸で危難を救つてくれた青年青木俊作が忘れ得ぬ人であつた。堀田のらん子に對する誘惑は日を追て濃くなつたがらん子は都の注意も意にせず親しんでゐたのには一つには決意があつた絶へず篠崎書伯の遺族を慰めてくれる片山湖舟によつて菅の心は都を許すやうになりその子供をも引き受ることゝした、そして瞳は菅の計ひにて母の許へ歸つて來た。やがて青木とらん子の間には婚約が成立した。それと知らなかつた堀田はらん子を追窮した、併し彼女はこれが二人の姉を惱ました復讐だと言つた。堀田は青木の爲めに嘲笑されたが今迄に貸して置いた篠崎家の移轉を迫つた時は既に引越しの準備も出來てゐたので一同が談笑しながら其家を捨てて去つた。

産婆・看護婦
生徒募集
◎修業年限　兩科ヲ通ジ一ヶ年
◎入學希望者ハ無試驗
◎申込期日　四月八日マデ
◎詳細ハ當校ニ御問合セ下サイ
平町南町　平産婆看護婦學校
校長　清野キヨ
電話三〇七番

優良なる
滊車印片腦油
殺菌防臭の效絶大なり
平町四丁目
代理店　關内藥局
電話四〇番

新學期來る
素的に評判の好い瑞西製の學生用堅牢確實な時計（學生諸君には特に勉強仕候）
瑞西製　ロー　ムー　パーマー　十形　七石入側
瑞西製　リメ　ラー　ドンクル　ア　ン　十五石入
平町三丁目【電話一九番】
大谷時計病院

季節向御料理大勉强
愈々公園の節
松ケ岡公園池ノ端（電話二二六番）
廉賣　親切　噂
第一割烹　ときわ

福引大賣出し（三月一日より七日間）
御運次第で百圓の品も只同樣　御買上金貳圓以上に福引券一枚進呈
▲一等十割戻し　▲二等五割戻し　▲三等二割戻し
▲四等一割戻し　▲五等五分戻し
松竹スター好み……防虫加工クレーヤーモス着尺
㊀陳列場に現はる
弊店は東京大デパートを始め他店の魁として一歩早く御覽に入るゝ事の出來たのは御得意樣の御蔭と感謝致し一升
平町三丁目　電話六十七番　中野吳服店

肺結核、肺尖加答兒、肋膜炎の優秀藥が始めて出來ました
特効新案　スパー錠　十一日分七圓　卅三日分廿圓
幾多の實驗者が立證せる効果は
一、熱は日に增し下る
一、咳嗽及喀がくなるか又は少くなる
一、盜汗が全くなくなるか又は少くなる
一、食慾が增進する
一、安眠が出來る
一、呼吸困難が樂になる
一、肋膜炎は水が取れる
縣下代理店　平町五丁目角　山野邊藥局

福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部專用一〇番　一般用二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂四二

醫油と味噌
東京支店
電話下谷五七一二番
振替東京六八三一二番

醫藥・温泉で全治せぬ人、難病に試みられよ斯る病苦に惱む人、ラヂオレーヤーで忽ち甦る
紫電外波光線療器　ラヂオレーヤー
リヨマチス、婦人諸病、脊髓諸病、各種神經痛、慢性中風症、肋膜肺病、內臟諸病、惡性皮膚病、肩の凝り、腦神經衰弱、耳鼻咽喉病、腹痛腰痛、生殖器諸病、流行性感冒、其他一般虛弱者
遠地の人、未知の人にも見品先渡月賦提供
說明書はハガキで申込次第進呈
價格　新案特許高級品一具金卅圓　發賣元　東京ラヂオレーヤー株式會社
東京市芝區宇田川町交叉点
電話料八十六錢　特約店　平町字佐美藥局

電話賣物あり
姓名在社——御照會は磐城時報社
電話五〇二番・四〇九番に願ひます

良品廉賣に勝る商略なし!!!
磐城セメント會社特約店
和洋銅鐵金物問屋　㊀釜屋商店
磐城平電話一九三九番
確實敏捷は㊀の生命なり!!!

滋養、强壯劑として愈々好評
偉大なる藥酒「粟守酒」
朝の一盃は精力の根原。晩の一盃は休眠の助力
粟守酒特約店　大平屋藥店
平町一丁目　電六四二
代價八日分壹圓九十錢

一葉印刷所
平町字仲町
電話七三四番